

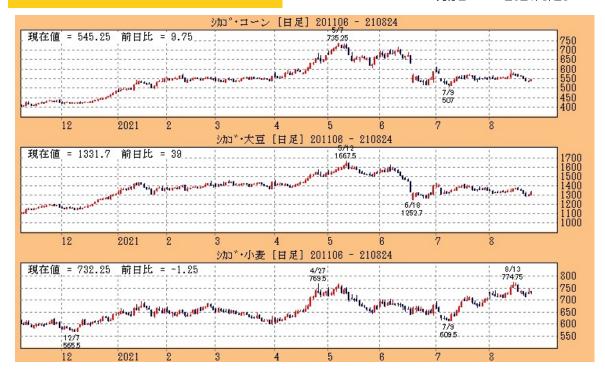
# 週刊穀物

世界の穀物情報がここに凝縮されています。 毎週水曜日夕方発行



### トウモロコシは反発、大豆は続伸

発行日 : 2021/8/25



24日のシカゴトウモロコシ12月限は前日比+9.75セント高の545.25セントと反発。取引レンジは536.00~547.00セント。米農務省(USDA)が前日の取引終了後に発表したトウモロコシの作況指数は、良以上の比率が前週から2ポイント低下の60%となったことから、減産を警戒する買いが先行した。大豆が大幅高となったことや、USDAによる大口成約の発表も支援材料となった。

シカゴ大豆11月限は前日比+39,00セント高の1331,75セントと大幅続伸。取引レンジは1292,00セント~1337,75セント。米農務省(USDA)が前日の取引終了後に発表した大豆の作況指数は、良以上の比率が前週から1ポイント低下の58%となったことから、買いが先行。さらに、USDA中国向けとして13万2000トンの成約を公表したことで上げ幅を拡大した。米産地で今週は35℃前後の最高気温が続くことも支援材料になった。

シカゴ小麦12月限は前日比▲1.25セント安の732.25セントと反落。取引レンジは724.75~737.50セント。前日の上昇を受けて利益確定のための売りが出た。米農務省(USDA)が発表した22日時点の春小麦の収穫進捗率は77%と、過去5年平均の55%を大幅に上回ったことも圧迫材料。ただ、大豆とトウモロコシが上昇したことによる買いも入り、下げ幅は限られた。

#### **TOPICs** Crop Progress

トウ <del>-</del>	18州		
Dough	前年度	2020 年度	過去5 年平均
7月11日	3%	3%	3%
7月18日	8%	8%	7%
7月25日	20%	18%	17%
8月1日	37%	38%	33%
8月8日	56%	56%	51%
8月15日	74%	73%	68%
8月22日	86%	85%	81%

トウ	18州		
Dent	前年度	2020 年度	過去5 年平均
8月8日	10%	8%	11%
8月15日	21%	22%	22%
8月22日	41%	41%	38%

トウモ	18州		
Matured	前年度	2020 年度	過去5 年平均
8月22日	5%	4%	4%



-			
		18州	
Blooming	前年度	2020 年度	過去5 年平均
6月20日	5%	5%	5%
6月27日	13%	14%	11%
7月4日	29%	29%	24%
7月11日	46%	46%	40%
7月18日	62%	63%	57%
7月25日	74%	76%	71%
8月1日	84%	86%	82%
8月8日	91%	91%	89%
8月15日	95%	94%	94%
8月22日	99%	97%	97%

	18州		
着サヤ	前年度	2020 年度	過去5 年平均
7月4日	2%	3%	3%
7月11日	10%	10%	10%
7月18日	23%	23%	21%
7月25日	40%	42%	36%
8月1日	57%	58%	52%
8月8日	73%	72%	68%
8月15日	83%	81%	79%
8月22日	91%	88%	87%

7	18州		
落葉	前年度	2020 年度	過去5 年平均
8月22日	4%	3%	3%

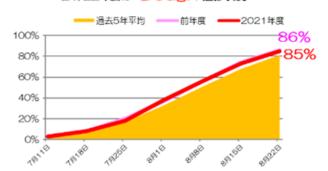
0,5220	0070	0170	0170										
	トウモロコシ								大豆				
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良	作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
5月30日	1%	2%	20%	62%	14%	76%	6月6日	1%	5%	27%	57%	10%	67%
6月6日	1%	4%	23%	58%	14%	72%	6月13日	2%	6%	30%	53%	9%	62%
6月13日	1%	4%	27%	56%	12%	68%	6月20日	2%	7%	31%	51%	9%	60%
6月20日	1%	5%	29%	54%	11%	65%	6月27日	2%	7%	31%	50%	10%	60%
6月27日	2%	6%	28%	51%	13%	64%	7月6日	3%	8%	30%	49%	10%	59%
7月4日	2%	7%	27%	50%	14%	64%	7月11日	3%	8%	30%	49%	10%	59%
7月11日	2%	6%	26%	51%	14%	65%	7月18日	3%	8%	29%	49%	11%	60%
7月18日	2%	7%	27%	50%	15%	65%	7月25日	3%	9%	30%	47%	11%	58%
7月25日	3%	7%	26%	49%	15%	64%	8月1日	3%	9%	28%	48%	12%	60%
8月1日	3%	8%	27%	47%	15%	62%	8月8日	3%	10%	27%	48%	12%	60%
8月8日	3%	8%	25%	49%	15%	64%	8月15日	4%	11%	28%	45%	12%	57%
8月15日	5%	9%	25%	47%	15%	62%	8月22日	5%	11%	28%	45%	12%	57%
8月22日	4%	10%	26%	46%	14%	60%	前年度	2%	6%	23%	55%	14%	69%
前年度	4%	8%	24%	49%	15%	64%							

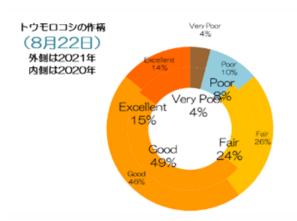
春	6州		
Harvested(収穫)	前年度	2020 年度	過去5 年平均
7月25日	1%	3%	2%
8月1日	4%	17%	8%
8月8日	14%	38%	21%
8月15日	28%	58%	36%
8月22日	46%	77%	55%

8月22日までの週の米国のトウモロコシのDoughは85%完了。昨年は86%、過去5年平均は81%、トウモロコシの作柄は、優と良が60%で前週より $\blacktriangle$  2%低下。前年は64%。大豆の開花は97%完了、昨年は99%、過去5年平均は97%。着サヤは88%完了、昨年は91%、過去5年平均は87%。大豆の作柄は優と良が前週と同じで、57%で前年の69%より悪い。春小麦の収穫は77%完了、昨年は46%、過去5年平均は55%。



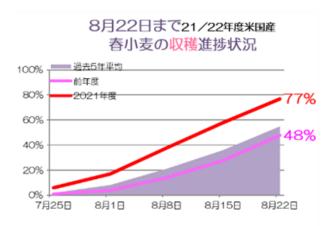
# 8月22日までのトウモロコシ 21/22年度の Dough 進捗状況



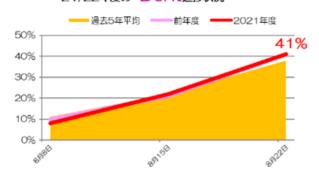


# 8月22日までの 21/22年度産<mark>大豆</mark>の着サヤ進捗状況

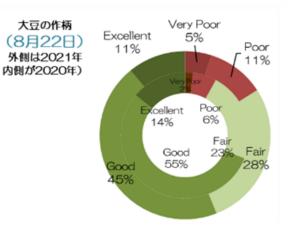




# 7月18日までのトウモロコシ 21/22年度の **Dent**進捗状況









#### TOPICs International Grain Council (IGC)による世界の穀物需給

#### 穀物全般

2021/22年の世界の総穀物(小麦と粗粒穀物)生産量の見通しは、小麦、大麦、オート麦を含む北米の干ばつによる減産が主な理由で、前月比▲6百万トン減の22億9,500百万トンとした。消費量は、主に飼料用の減少により▲400万トン減少するが、総消費量は前年同期比+3%増の22億9,500万トンとなり、過去最高を更新する見込みである。

小麦と大麦の減産をトウモロコシの増産で補ったため、2021/22年末の世界の在庫量は前月比▲3百万トン減の5億9,400万トンとなり、前年同期比ではほぼ横ばいとなった。

世界貿易量(7/6月)の見通しは、中国向け大麦の出荷量が増加することなどから、前月比+100万トン増の4億1,900万トン(前年同期比▲2%減)となった。

2020/21年の世界の大豆貿易見通しは、ここ数ヶ月の南米産大豆の出荷量が予想よりも少なかったため、前月比▲400万トン減の1億6,800万トン(前年比▲200万トン減)とした。21/22年の世界の生産量見通しは3億8,200万トン(前年比十1,900万トン増)に引き下げられるが、期首在庫が多いため、供給量は若干増加する。

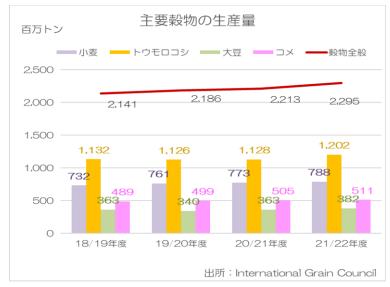
総消費量は前月比横ばいで、主要輸出国の増加を含め、期末在庫は前年比+9%増の5,400万トンに引き上げられた。

貿易量は、前月比で若干減少するものの、過去最高の1億7,200万トン(+400万トン増)となる見込み。2021年(1月/12月)の世界のコメの貿易量は、前月比でほとんど変わらずの4,650万トンと予想される。これは、インドの輸出が増加する一方で、他のサプライヤーが減少するためである。21/22年の世界のコメ生産量は、多くの生産者の限界的な調整により、前月比▲100万トン減の5億1,100万トン(前年同期比+600万トン増)となる。この減少分は期初在庫の増加で相殺され、消費量は前月比でほとんど変わらないため、世界の在庫は前月比横ばいの1億7,100万トン(1,100万トン)となった。

IGC Grains and Oilseeds Index (穀物・油糧種子価格指数: GOI) は、小麦と大豆の輸出価格が大幅に上昇し、他の構成銘柄の下落を上回ったため、前月比+3%増となった。

## 主要穀物生産量

The same of the sa	主要執	设物生産量		
百万トン	18/19年度	19/20年度	20/21年度	21/22年度
穀物生産量	2,141	2,186	2,213	2,295
小麦生産量	732	761	773	788
トウモロコシ生産量	1,132	1,126	1,128	1,202
大豆生産量	363	340	363	382
コメ生産量	489	499	505	511



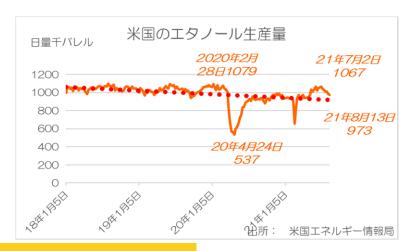


		<b>*21/22</b>	2年度の予想は	21年7月29日	のもの
	世界	早の穀物			
百万トン	18/19年度	19/20年度	20/21年度	21/22年度	前年比
期初在庫	650	623	616	593	▲3.6%
生産量	2,141	2,186	2,213	2,295	+3.7%
供給合計	2,791	2,809	2,829	2,889	+2.1%
消費量	2,168	2,193	2,236	2,295	+2.6%
内食料用	718	725	736	748	+1.6%
内飼料用	965	991	1,014	1,051	+3.7%
内工業用	368	356	363	370	+2.0%
期末在庫	623	616	593	594	+0.1%
前年比	▲27	<b>A</b> 7	▲23	+1	
主要輸出国※の輸出量	163	155	133	130	<b>▲</b> 1.7%
※ アルゼンチン・					
		小麦			
百万トン	18/19年度	19/20年度	20/21年度	21/22年度	前年比
生産量	732	761	773	788	+1.9%
貿易量	168	185	190	192	+1.1%
消費量	740	745	770	787	+2.2%
期末在庫	260	276	279	280	+0.4%
前年比	▲8	+16	+3	+1	3.500,100
主要輸出国※の輸出量	69	64	62	57	▲8.1%
※ アルゼンチン・	豪州・カナダ	・EU・カザフ	スタン・ロシブ	ア・ウクライナ	• 米国
	トウ	モロコシ			
百万トン	18/19年度	19/20年度	20/21年度	21/22年度	前年比
生産量	1,132	1,126	1,128	1,202	+6.6%
貿易量	165	175	189	180	▲4.8%
消費量	1,149	1,154	1,158	1,199	+3.5%
期末在庫	326	2,398	268	270	+0.7%
前年比	<b>▲</b> 17	▲29	30	3	
主要輸出国※の輸出量	71	63	39	44	+12.8%
*	アルゼンチ	ン・ブラジル・	ウクライナ・:	米国	
		大豆			
百万トン	18/19年度	19/20年度	20/21年度	21/22年度	前年比
生産量	363	340		382	+5.2%
貿易量	152	170	168	172	+2.4%
消費量	347	351	366	378	+3.3%
期末在庫	63	52	49	54	+10.2%
前年比	+16	<b>▲</b> 11	-3	4	
主要輸出国の輸出量	30	23	13	14	+7.7%
主要輸出国※の輸出量	~ 7"	<b>ピン・ナン・ ゴ</b> ョ	- 50 H N/E		
	※ アル・	ゼンチン・ブラ <b>コメ</b>	フンル・米国		
古ちしい	10/10年度		20/24年度	21/22年度	前年ル
<u>百万トン</u> 生産量	18/19年度	19/20年度	20/21年度		前年比 +1.2%
工性里 貿易量	489	499	505	511	
	43	500	46 509	47 510	+2.2%
消費量	488	500	508	510	+0.4%
期末在庫 前年比	175	173	170 -3	171	+0.6%
主要輸出国の輸出量	+10 39	<b>▲</b> 2		38	10.00/
主要輸出国※の輸出量	39	38	38	38	+0.0%
土安制山西水の制山里	インド・バー	<b>エフ</b> ねい・ねィ	/・米国・ベト	+/>	
2.	12111	1/1/		<i>/</i> —	



## TOPICs エタノールの生産量 by EIA(米国エネルギー情報局)

米国のエタノール需要は減少傾向を示している。8月13日時点で97万3千バレルと7月2日より約▲10万バレル減少している。

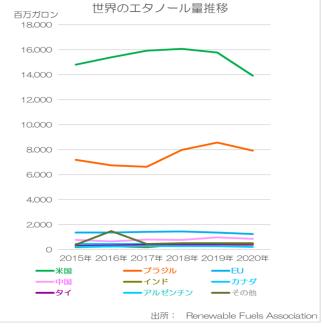


## Renewable Fuel Association (RFA) による世界のエタノール生産

百万ガロン	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	世界のシェア
米国	14,807	15,413	15,936	16,091	15,778	13,926	53,4%
ブラジル	7,200	6,750	6,650	7,990	8,590	7,930	30.4%
EU	1,360	1,360	1,420	1,450	1,370	1,250	4.8%
中国	770	670	800	770	1,000	880	3.4%
インド	190	280	200	430	510	515	2.0%
カナダ	450	460	460	460	520	428	1.6%
タイ	310	340	390	390	430	400	1.5%
アルゼンチン	220	240	290	290	280	230	0.9%
その他	393	1,487	454	529	522	500	1.9%
合計	25,700	26,000	26,600	28,400	29,000	26,059	100.0%

RFAのデータによると、2020年の世界のエタノール生産量は260億ガロン(約984億リットル)で、米国が約半分を生産し、ブラジルが3割、次いでEU、中国、インド、カナダ、タイ、アルゼンチン等が生産している。2020年は生産量が大幅に減少している。







#### 今後の予想

シカゴトウモロコシ価格は少し反発したが、Crop Progressにも特に大きな変化があったわけではないため、流れとしては横這いであるかと思われる。生育は実が成熟する時期に入ってきており、ほぼ最終工程で、作柄は優と良が60%であり、平年並みと言えよう。プロファーマーの生産高予想で、イールドはトレンドイールドを下回っているものの、生産高予想は151億ブッシェルを越えるもので、8月の需給報告よりも大幅に増加した水準となっている。米環境保護局(EPA)は延期されている2021年度のバイオ燃料の混合義務を2020年度ベースにすることを勧告している。つまり、混合率の引き下げを示すもので、失望売りにつながっている。バイデン政権が勧告を受け入れるかどうか不透明だが、圧迫要因に変わりはない。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス (以下「COMMi」という) が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

発行元:



株式会社コモディティー インテリジェンス 〒181-0012東京都三鷹市上連雀1-1-5三鷹ロイヤルハイツ706号会社電話: 0422-56-9819 携帯電話 090-1628-0583 メールアドレス: kondo@commi.cc